

# ITエンジニア養成科



訓練期間  
**2年間**

募集期間：令和7年1月14日（火）から2月20日（木）まで

**訓練目標** ITに関する専門的な知識・技術を学び、関連する資格を取得し即戦力として活躍できる技術者を目指します。

訓練期間	令和7年4月8日(火)～令和9年3月 2年間 (令和9年3月に終了しますが、訓練最終日は訓練期間中に確定します。)	
訓練時間	基本は9時30分～15時25分 ※学校行事の際は例外 ・訓練日程については、坪内総合ビジネスカレッジ米子キャンパスに準じます ・土日もしくは祝日に、授業が開講されることもあります	
訓練施設	専門学校坪内総合ビジネスカレッジ米子キャンパス 米子市末広町311米子駅前ショッピングセンター3階 電話(0859)21-5168	
応募対象者	※以下のすべてを満たす方 ①概ね55歳未満の方 ②学校教育法による高等学校もしくは中等教育学校(中高一貫校)を卒業した方 ③非正規雇用労働など、不安定就労の期間が長いことや、安定就労の経験が少ないことにより能力開発機会が乏しかった方又は出産・育児等により長期間離職していた方等。 ④公共職業安定所長に求職の申込を行い、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示が得られる方 ⑤訓練を修了し資格取得する明確な意思を有し、正社員就職を希望する方 ⑥公共職業安定所においてジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを受けた結果、当該訓練の受講が必要と認められる方 ※新規学卒未就職者は対象外 ※学卒未就学者であって、受講申し込み時点で学校卒業後1年以上経過していない方は対象外 ⑦過去に1年以上の公共職業訓練(委託訓練)を受講したことのない方	
募集人員	2名	
自己負担額	受講料	無料
	テキスト代	●1年次 65,000円程度 ●2年次 Ruby エンジニアコース 20,000円程度 モバイルエンジニアコース 27,000円程度 ※2024年度実績 ※テキスト変更等により、金額の変更の可能性があります ※2年次のテキストは進級時に購入していただきます
	駐車場代	月額5,500円 ※希望者のみ必要
	その他	・ノートPC(Windows11以上推奨)を授業で使用します ・実習教材費、式典等費用、学生災害保険料等で2万円程度の諸経費が発生する場合があります ・資格受験料など ※詳しくは訓練施設へお問い合わせください
雇用保険等	○雇用保険受給資格者で一定の条件を満たしている方は、雇用保険等が給付延長(2年間)される場合があります。 【管轄の公共職業訓練安定所でお尋ねください】 ○鳥取県内在住で支給要件に該当される方に、訓練受講期間中は保育料等の半額(※上限額有り)を助成します。【予定】 ○専門学校坪内総合ビジネスカレッジの学生として、JR、バス等の交通機関を利用して通学する方には、通学定期及び学生割引が適用されます。 ○母子家庭の母又は父子家庭の父で、支給要件に該当される方は、高等職業訓練促進給付金が支給される場合があります。【県、各市及び福祉事務所設置町村でお尋ねください】	

進級時にコース変更が可能です

## IT学科 | モバイルエンジニアコース |



### 幅広い知識を確かな技術を身に付け、イメージを形に

モバイルエンジニアコースは、身近になったスマートフォンやタブレットで利用されるアプリケーションを作成する力を習得します。スマホアプリで使われる最新の高度な技術を活用するためにプログラミングやデザインを基礎から学び、豊富な実習を通して未経験の人でも徐々に実践力をつけていきます。日々新しくなり続けるスマホアプリを自分自身で作成する力を付け、イメージを形にできるエンジニアを目指します。

## IT学科 | Rubyエンジニアコース |



### システム開発実習等を通してITの実践経験を積み重ねる

Rubyエンジニアコースは、地元で求められているRubyエンジニアとして必要な力を豊富な実習を通して学んでいきます。システム開発に求められるプログラミング言語の知識、スキル以外にもブラウザやOS、データベースなど幅広い分野の技術を身に付けることができます。また、Ruby技術者認定試験の取得に向けて1年次から取り組むことでRubyの仕組みについてより深く理解することができます。最初は単純なプログラムを動かすのに苦労する人でも、教員の充実したサポートと目標を同じくするクラスメイトとの助け合いで品質の高いシステムを作ることができるようになります。

●高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つ全国でも数少ない教育認定校です。

◎この訓練科は国の政策のもと、産業人材育成センター米子校と専門学校坪内総合ビジネスカレッジが共同で行う特別なプログラムです。産業人材育成センター米子校の訓練生であると同時に、専門学校坪内総合ビジネスカレッジの学生として位置づけられます。

◎専門学校坪内総合ビジネスカレッジ米子キャンパス「IT学科」への入学となります。

※この訓練は2月の県議会により実施が決定します

訓練受講に関して詳しくは、住居所を管轄する公共職業安定所へお問合せください。

米子公共職業安定所	(0859)33-3911	米子公共職業安定所根雨出張所	(0859)72-0065
倉吉公共職業安定所	(0858)23-8609	松江公共職業安定所安来出張所	(0854)22-2545
鳥取公共職業安定所	(0857)23-2021		

鳥取県立産業人材育成センター米子校	米子市夜見町3001-8 電話:(0859)24-0372 E-mail: sangyoujinzai-yonago@pref.tottori.lg.jp https://www.pref.tottori.lg.jp/3637.htm
専門学校坪内総合ビジネスカレッジ	(代表) 住所: 島根県松江市東朝日町74 電話: 0120-279-312

ITエンジニア養成科 教育内容

科目	訓練内容	訓練時間	科目	訓練内容	訓練時間
マネジメント分野Ⅰ	「プロジェクトマネジメント」「サービスマネジメント」「システム監査と内部統制」について学習	60	総合実践Ⅰ	グループごとにデザイン、システム・企画の発案、設計、開発を行いながら複数人での開発作業を行う	60
C言語基礎Ⅰ	基本的な探索アルゴリズムやソートについて学習 基本的な文法を解説し、演習によりプログラムを作成	60	総合実践Ⅱ	グループごとにウォーターフォールモデルを用いてシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う	60
テクノロジー・ハードウェア分野Ⅰ	基本理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術について学習	60	総合実践Ⅲ	グループごとにデザイン、システム・企画の発案、設計、開発を行いながら複数人での開発作業を行う	60
ストラテジ分野Ⅰ	「企業と法務」「経営戦略」「情報システム戦略」「開発技術」について学習	60	総合実践Ⅳ	グループごとにウォーターフォールモデルを用いてシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う	90
HTML・CSSⅠ	Webデザインに必要な性について学んだ後、配色やレイアウトなどを学習し、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得課題としてテーマを与え、利用者を想定したWebデザインを完成させる	60	MOS演習Ⅰ	マイクロソフトExcelの一般的使い方から応用的使い方で学習する	30
HTML・CSSⅡ	モバイルサイト制作に必要なCSSプロパティ・メディアクエリなどの知識を学習後、テーマを決め、スマートフォンなどのモバイル端末を主体としたサイト制作に取り組む デザインに必要な情報を整理し、ワイヤーフレームなど必要なものを作成後、作成された資料をもとにコーディングしていきサイトを完成させる	30	工業・社会Ⅰ	新入生研修、スポーツ大会、学園祭など	46
WebデザインⅠ	デザインの必要性を学んだ後、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得 生成AIを含めた、IT技術について学びアイデアの発想法について習得	30	工業・社会Ⅱ	スポーツ大会、学園祭	32
WebデザインⅢ	デザインの必要性を学んだ後、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得 生成AIを含めた、IT技術について学びアイデアの発想法について習得	30	キャリア演習Ⅰ	履歴書指導により自己分析を行い、企画・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に付ける 学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える	34
WebデザインⅣ	数名のチームに分け、「UX設計→UI設計→デザイン」の手順で実際にWebサイトを制作する	34	キャリア演習Ⅱ	学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える	20
Ruby基礎Ⅰ	基本的な文法を解説し、演習によりプログラムを作成	60	国家試験対策Ⅰ	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得	34
データベース技術Ⅰ	SQLの文法のみならず、データベースの種類や役割・仕組みを学びながら、データベースの操作方法を学習	30	国家試験対策Ⅱ (1・2年)	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得	120
ビジネススキルⅠ	職業人として必要なコミュニケーションの基本及び仕事の実践について学び、ビジネス能力検定3級の練習問題や過去問題を通して理解を深める	30	国家試験対策Ⅲ	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得	30
カラーマネジメントⅠ	デザイン制作、システム開発における画面設計時の配色の選択・活用法を学ぶ	30	グループマネジメントⅠ	構成的グループエンカウンターなどのワークを通して、コミュニケーション技術、グループ運営の手法を体験から学ぶ	30
jQueryⅠ	よく使われるスライドショーやスティッキーヘッダーを制作しながら、jQueryの基本構文を学習	60	グループマネジメントⅡ	構成的グループエンカウンターなどのワークを通して、コミュニケーション技術、グループ運営の手法を体験から学ぶ	30
JavaScriptⅠ	JavaScriptの基本となる変数やデータ型、演算子や制御構文を学習後、基本データを操作する形で組み込みオブジェクトの知識を習得	30	PythonⅠ	Pythonの一般的なクラスやメソッドの知識を習得し、AIを活用したプログラム作成の基礎を学ぶ	60
企業講演会 (1・2年)	様々な業界の方の講演会 社会人・職業人としての心構えなどについて学ぶ	40	企業体験実習Ⅰ	企業内で、実際のエンジニアの仕事を見学・体験することで、IT技術者としての目標を明確化、就職活動のきっかけとする(事前指導・事後指導含む)	34
RubyⅠ	Ruby技術者認定試験Silverの合格を目標に各種メソッドを中心に学びつつ、オブジェクト指向言語独特のプログラミング技術の学習を進める	58	企業体験実習Ⅱ	インターンシップ 実際の場で、現場からプロの指導を受ける (事前指導・事後指導を含む)	34
RubyⅡ	Ruby技術者認定試験Silverの合格を目標に各種メソッドを中心に学びつつ、オブジェクト指向言語独特のプログラミング技術の学習を進める	30	制作演習Ⅰ	自主的な制作物を検討、実際の開発を通してシステム設計から開発テストまで、実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行い、開発業務の全体像をつかむ	60
RailsⅠ	Railsの構成するMVC各役割ごとに、関連ファイルとコマンドを確認、コードを記述、画面・動作の確認をしながら作業を進めることでRailsの基本的な操作を学習	60	制作演習Ⅱ	自主的な制作物を検討、実際の開発を通してシステム設計から開発テストまで、実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う	60
AndroidⅠ	Kotlinの文法を理解したうえでAndroid向けアプリの仕組み、開発手順を学習 Androidアプリを構成する各コンポーネントとそのライフサイクルを理解する	60	プレゼンテーションⅠ	テーマに沿って発表資料を作成し、実際にプレゼンテーションを行って資料・発表内容について振り返りを行いながらプレゼンスキルを高める	30
JavaⅠ	Javaの構文、オブジェクト指向言語でのプログラミング手法を学習し開発ツールを使いこなして要求されたプログラムを記述することができるように学習	58	メディア制作Ⅰ	自主的な制作物を検討、実際の開発、コンテンツの制作を通して独創的、創造的なアイデアの創出力を養う	30
JavaⅡ	Javaの構文、オブジェクト指向言語でのプログラミング手法を学習し開発ツールを使いこなして要求されたプログラムを記述することができるように学習	30	JSPⅠ	JSPを学び、Webアプリケーション開発を行う	30
			卒業研究Ⅰ	学習したプログラミング言語を活用し、自分の思い描くシステムを企画・開発する	90
			RailsⅡ	Railsの構成するMVC各役割ごとに、関連ファイルとコマンドを確認、コードを記述、画面・動作の確認をしながら作業を進めることでRailsの基本的な操作を学習	60
			AndroidⅡ	Androidアプリを構成する各コンポーネントとライフサイクルを理解し、要求されたアクティビティ、ビューを作成	60
計		852	計		1164
			総訓練時間総合計	(学科852時間、実技1164時間)	2016

※2年次にRubyエンジニアコースを専攻した場合

、モバイルエンジニアコースを専攻した場合

## 選考日程

選考日時：令和7年3月6日（木）

選考場所：専門学校坪内総合ビジネスカレッジ米子キャンパス

選考方法：作文、面接試験

合格発表：令和7年3月11日（火）付で専門学校坪内総合ビジネスカレッジと産業人材育成センター米子校から本人宛に文書で郵送します。

※ただし、職業訓練の対象となる方は産業人材育成センターの合格者のみです。

入校日：令和7年4月8日（火）…専門学校坪内総合ビジネスカレッジ 入学式\* \*合格者に別途ご案内します

※産業人材育成センター米子校の入校式と専門学校坪内総合ビジネスカレッジの入学式は別で実施

## 応募方法

① 最寄りの公共職業安定所にご相談の上、**産業人材育成センター米子校の入校願書を提出・受付処理後、2月20日（木）17時15分必着**で産業人材育成センター米子校へ提出して下さい。

※入校選考手数料は必要ありません

※持参の場合…受付時間：8時30分から17時15分までです。（土日・祝日を除く）

※郵送の場合…簡易書留で郵送してください。

② 専門学校坪内総合ビジネスカレッジ出願書類一式は、各自が必要書類等を準備し、**2月20日（木）17時30分必着**で専門学校坪内総合ビジネスカレッジに提出してください。

※選考料は必要ありません

※入校願書には、余白部分に「長期高度人材育成コース」と追記してください。

※持参の場合…受付時間：9時から17時30分までです。（土日・祝日を除く）

※郵送の場合…専用封筒に入れ、速達書留扱いにて郵送してください。

★①②の両方の書類をご提出ください。①②の書類は公共職業安定所にあります。（写真貼付縦4cm×横3cm）

## 取得が目指せる資格

分野	検定名称	受験料	
IT	情報処理技術者試験	基本情報技術者試験	¥7,500
		応用情報技術者試験	
		情報セキュリティマネジメント試験	
	修了認定試験	午前試験免除	¥2,000
	情報検定（J検）情報システム試験	基本スキル	¥3,500
		プログラミングスキル	¥3,000
		システムデザインスキル	¥3,000
	Javaプログラミング能力認定試験	2級	¥4,700
3級		¥3,700	
Ruby技術者認定試験	Silver	¥8,250	
共通	Microsoft Office Specialist 試験	MOS Excel（スペシャリスト）	¥6,600
	ビジネス能力検定ジョブパス（B検）	3級	¥3,000

※受験料は変更になる場合があります

◎ITエンジニア養成科の訓練生は、休学や留年は認められません。このため、留年が決定した場合は、その時点で退校していただきます。